

プリオン病自然歴調査 調査票【医師診察】

調査日	西暦	年	月	日	サーベイランス 調査No.			自然歴調査No.		
イニシャル (姓・名)			追跡調査実施		回目	同意者				
経過	進行型	不明の理由								
症状	1) ミオクローヌス(四肢)		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	2) 認知機能障害									
	進行性認知症		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	3) 小脳症状									
	終末期振戦		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	前腕回内回外運動障害		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	上肢の測定異常 (dysmetria of U/E)		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	下肢の測定異常 (dysmetria of L/E)		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	4) 錐体路徴候									
	腱反射亢進		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	病的反射 (バビンスキー徴候・チャドック反射)		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	痙性歩行		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	筋力低下		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	5) 錐体外路徴候									
	四肢筋強剛		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	安静時振戦		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
	姿勢反射障害		年	月		日頃 ~		年	月	日頃
動作緩慢		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
6) 意識障害		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
7) 感覚障害		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
8) 視覚異常										
変形視		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
視野障害		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
9) 精神症状										
不穏		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
せん妄		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
幻覚		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
10) 起立・歩行障害		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
11) 構音障害		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
12) 嚥下障害		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
13) 膀胱・直腸障害										
14) てんかん発作		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
15) 無動性無言		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
16) ADL他										
食事不能		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
食事不能時の栄養取得方法										
人工呼吸器使用		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
気管切開		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
17) その他の症候		年	月		日頃 ~		年	月	日頃	
脳波	「実施」の場合の時期		年	月		日	PSD			
画像	「実施」の場合の時期		年	月		日	徐波化			
メモ										

プリオン病自然歴調査 調査票【医師診察】

【MRCスコア】

調査日	西暦	年	月	日	サーベイランス No.	自然歴調査 No.	調査	回目
イニシャル (姓・名)					調査	回答者	「その他」の場合 具体的に	
MRCスコア	1) 排便機能			直近の7日間で便失禁が一回以上あった		直近の7日間には便失禁なし		
	2) 排尿機能			常に失禁しているか、カテーテル処置をしている		排泄を制御できているか、まれに失禁する		
	3) トイレの使用			全介助		部分介助		
				自立				
	4) 入浴			全介助あるいは部分介助		自立		
	5) 食事			不能または経鼻/胃瘻栄養法/RIG fed※ (経口では何も摂取できない)		介助 (嚥下の危険の有無は問わない)		
				自立				
	6) 移動			寝たきり、座ることもできない		座ることはできるが、移動は介助を要する (人による介助、杖による介助を問わず)		
				自立				
	7) 階段の昇降			不能		要介助		
				自力で階段の昇降が可能				
8) 言語反応性			無言		発声はあるが理解不能			
			単語レベルの発語		文章によって受け答えるが、換語の困難や不適切な単語の使用などがあり、しばしば見当識障害や混乱を認める			
			通常の会話が可能					
9) 記憶及び環境への順応			周囲の状況に関心がないか、過去の記憶が残っていない		親しい人物などよく知っていることは認識している形跡がある、または周囲の状況に気付いてはいるが、新しい事柄を認識している形跡はない			
			新しい情報を保持できているが、常に記憶に障害がある		記憶は正常か、ごく軽度の物忘れがある			
10) 判断と問題解決能力			判断力や問題解決能力はない		判断力や問題解決能力が少しでも残っている			
11) 道具の使用			道具や器具の使用が全くできない		必要な場合には、介助があれば道具や器具を使用することができる			
スコア			P	※RIG (※RIG (radiological inserted gastrostomy): X線透視下胃瘻造設術。非手術的胃瘻チューブ留置方法。本邦では、PEG (percutaneous endoscopic gastrostomy) 経皮内視鏡的胃瘻造設術を用いることも多い。				
メモ								
【担当医師所属】					【担当医師氏名】			
					(連絡先電話番号)			
					(連絡先e-mail)			